

京都歴史教育者協議会 10月例会 (10/24) ご案内

～「現代社会を読み解くための世界史Aの取り組み」～

京都歴史教育者協議会

【連絡先】〒611-0031 宇治市広野町八軒屋谷 33-1 立命館宇治高校気付 森口 等
☎0774-41-3000 FAX☎0774-41-3555 メール moriguti@ujc.ritsumei.ac.jp

文化祭や入試説明会、保護者会行事、各種教育研究会など、秋の忙しい時期ではありますが、みなさんのご出席をぜひ、お待ちしております。多忙な中だからこそ、土曜のひとときを、あえて「授業作り」について集中的に考える事で、生徒と保護者などへの責任を果たしましょう！若手の意欲的な実践から、ベテラン、中堅、社会科教師を志望する学生がともに学びあいましょう。日程を調整の上、多くの方のご出席をお待ちしています。

*若手による実践報告シリーズ その「1」

(1回目はインフルエンザの影響で延期になりました)

【テーマ】 「現代社会を読み解くための世界史Aの取り組み」

【報告者】 大川 沙織さん(京都府立南陽高校社会科 採用1年目)

【日時】 10/24(土) 15:00～17:30(予定)

【場所】 同志社大学今出川キャンパス クローバーハウス2階

～地下鉄「今出川」下車3番出口を出て烏丸今出川交差点を東に進み、すぐの木製の門を入り右の2階建ての建物の2階、市バス「烏丸今出川」(河原町通り方面行き)下車徒歩すぐ～

【報告要旨】

本当に些細なことですが、高校で世界史Aを学ぶことで、普段生徒が少しでも見たり聞いたりするニュースの歴史的な背景が分かったり、(3年生であれば)過去に地理や現代社会で勉強したことのある内容と結びついたりして、社会科の学習が深まり、自分なりの歴史認識や社会認識を持つことを目標にして授業をしています。当日は、高校2・3年□・□類の文型と理系の世界史Aについて発表します。この科目については、生徒の態度も興味も実にさまざまです。

私は、生徒が歴史を「現在と関係のない大昔のできごと」と思わず、「現代の社会につながっているできごと」だと思えるように授業をすることを目標としています。

私が勤務している京都府立南陽高校では1年次に現代社会を、3年理系については2年次に地理Aも履修しているので、世界史では、彼らの予備知識や興味をできるだけ刺激してみようと思いました。そこで、授業のはじめには、次のような質問をしています。

- ・「ニュースで一時よく聞かれたイスラム教のスナ派とシーア派はいったいどのようにしてできたのだろうか？」
 - ・「チャイナタウンは日本を始めとして、いろんな国にあります。それはどうして？」
 - ・「ギリシャ正教は主に東ヨーロッパのスラヴ系の人々が信仰していますが、ローマカトリックとはどういう関係にあるのだろうか？」
 - ・「中国の山東省はビールの製造がとてもさかんです。なぜだろう？」等、
- このように、現代社会とはるか昔の歴史を結びつけるような発問をできるだけするようにしています。

教諭採用1年目で、「どの単元を何時間かけてするのか」などの良いテンポがまだよくわからず、「計画的な学習になっていない点」、「生徒に問いかけておいて、答えは結局教師がべらべらと説明してしまう点」などが気になっています。どうか、みなさんのアドバイスをよろしくお願いします。

* 別途特別報告として羽田純一さんの「司馬遼太郎の歴史観」に関連しての報告を構想中

* 11月例会は、「近畿ブロック集会in和歌山」です。20日(金)は紀ノ川市の県立粉河高校での横出さんの公開授業、21日(土)は、和歌山市内(プラザホープ)での分科会です。参加の予定をよろしくお願いいたします。

* 12月例会は、篠原 貴明さんの報告を12/19(土)に予定。その後の恒例の忘年会の出欠の心づもりをお願いします。